

平成23年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	中央アジア地域関連シンポジウム開催経費	担当部局庁	欧州局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度開始	担当課室	中央アジア・コーカサス室	室長 池上 正喜				
会計区分	一般会計	施策名	I-4 欧州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「中央アジア＋日本」対話の枠組みにおける政府間協議とは別に、中央アジア諸国の有識者と我が国有識者との意見交換を実施し、同諸国との対話の裾野を拡げ、相互理解の深化と地域協力を役立てる。意見交換の結果を「政策提言」として「中央アジア＋日本」対話の政府間会合に提出し、我が国の対中央アジア外交推進に活用する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	2004年8月に立ち上げられた「中央アジア＋日本」対話の枠内で様々な分野における中央アジアの有識者を我が国に招聘し、我が国有識者と忌憚のない意見交換を行うためのシンポジウム(東京対話)を開催するもの。本件対話はこれまで4回開催(06年3月第1回「中央アジア地域統合の展望、域外国との関係」、07年1月第2回「水資源と電力を巡る地域協力、資源供給ルートの多角化」、09年2月第3回「環境協力、気候変動問題」、10年2月第4回「物流インフラの整備」)。昨年度は11年3月に貿易投資をテーマとする特別セッションを予定していたが東日本大震災のため実施を延期した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	4	4	4	4	4	
	執行額		3	3	1			
	執行率(%)		75.6	62.8	25.5			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本件シンポジウムは、中央アジア諸国の有識者との意見交換の結果を「中央アジア＋日本」対話の枠組みに活かすことを目標とする。中央アジア諸国と日本との経済関係が安定的に発展していることを示す参考指標として貿易額(財務省統計に基づく)の推移を記載する。		成果実績	億円	1,657.10	645.5	1,028.10	
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	東京対話実施回数(平成20年度2月、平成21年度2月実施。平成22年度は東日本大震災のため実施延期)		活動実績 (当初見込み)	回数	1	1	— ()	— ()
単位当たりコスト	(円／)		算出根拠	平成22年度は東日本大震災のため実施延期				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	2131	2131					
	旅費	834	954					
	会議費	346	344					
	人件費	234	235					
計	3545	3664						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	中央アジア諸国の有識者を招聘し、我が国の有識者と公益性の高いテーマについて意見交換を行うことを可能にするには国が積極的に関わることが必要。意見交換の場所には外務省国際会議場を確保し、また、支出先や使途についても厳正に対応し、正確な経費の把握に努めつつ、最大限の成果を上げるよう努力している。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状どおり	――		
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)	
――			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

外務省
3. 9百万円

(中央アジア地域関連シンポジウム開催経費)



【競争性のない随意契



A 在外公館
0. 9百万円



B インターグループ
0. 1百万円

(翻訳)



C 旅行代理店
0. 9百万円

(航空券手配5名分)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	在外公館		0.9		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	インターグループ	会議開催業務	0.1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	旅行代理店	航空券手配(5名分)	0.9		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					